

金沢区制50周年記念

郷土芸能まつり開催

金沢区文化協会主催



よ
さ
い

金沢区文化協会会報

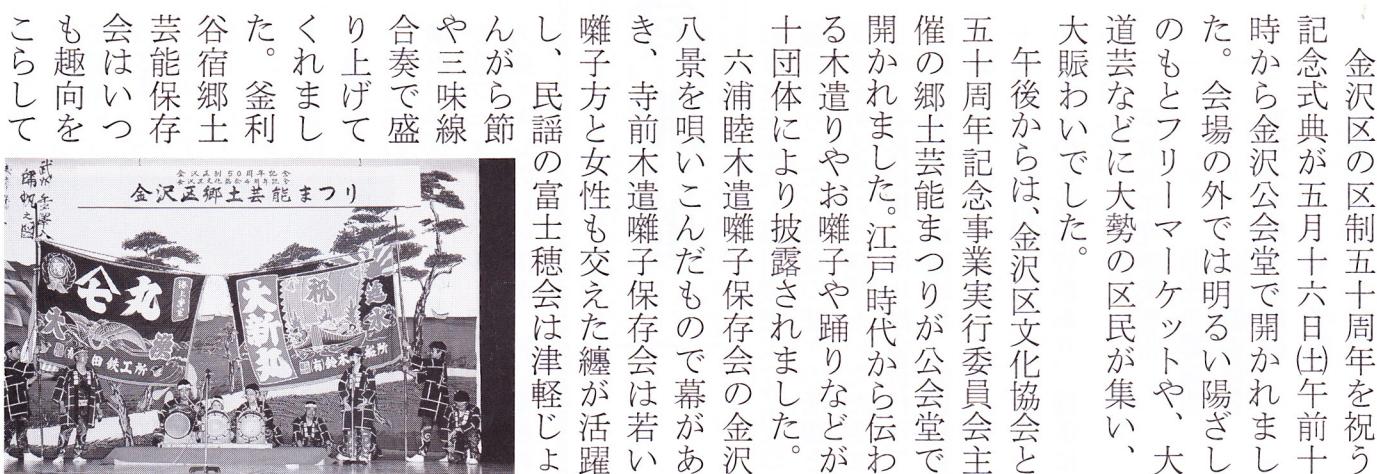
金沢区文化協会

編集人 岩瀬昭二

☎ 701-0795

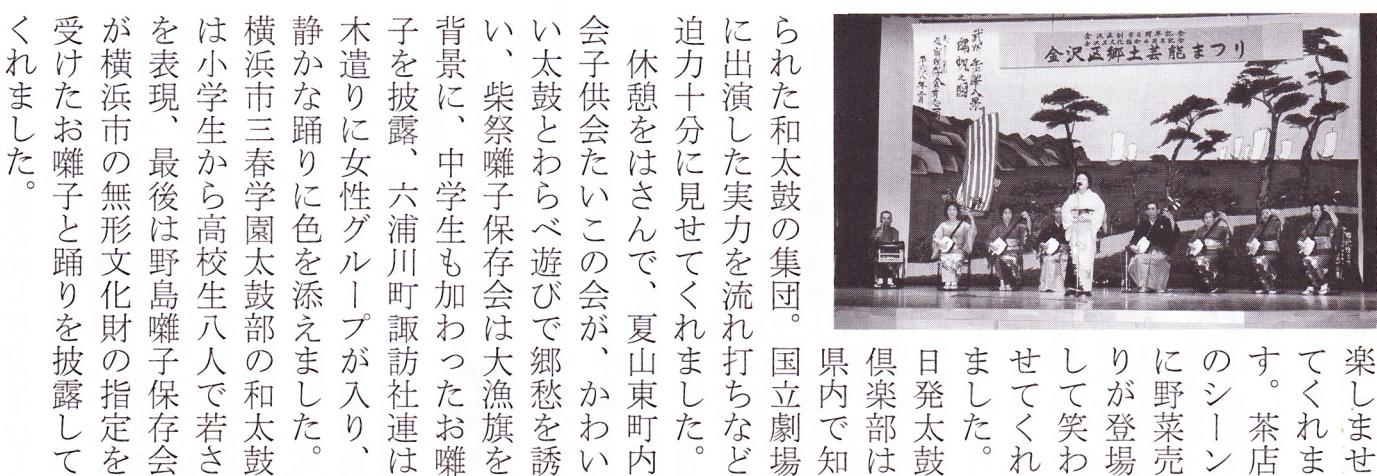
発行人 森下春陵

☎ 783-1025



午後からは、金沢区文化協会と五十周年記念事業実行委員会主催の郷土芸能まつりが公会堂で開かれました。江戸時代から伝わる木遣りやお囃子や踊りなどが十団体により披露されました。

六浦睦木遣囃子保存会の金沢八景を唄いこんだもので幕があき、寺前木遣囃子保存会は若い囃子方と女性も交えた纏が活躍し、民謡の富士穂会は津軽じよんがら節や三味線合奏で盛り上げてくれました。釜利谷宿郷土芸能保存会はいつも趣向をこらして



られた和太鼓の集団。国立劇場に出演した実力を流れ打ちなど迫力十分に見せてくれました。

休憩をはさんで、夏山東町内会子供会たいこの会が、かわいい太鼓とわらべ遊びで郷愁を誘い、柴祭囃子保存会は大漁旗を背景に、中学生も加わったお囃子を披露、六浦川町諏訪社連は木遣りに女性グループが入り、静かな踊りに色を添えました。

横浜市三春学園太鼓部の和太鼓は小学生から高校生八人で若さを表現、最後は野島囃子保存会が横浜市の無形文化財の指定を受けたお囃子と踊りを披露してくれました。

樂しませ
てくれま
す。茶店
のシーン
りが登場
して笑わ
せてくれ
ました。
日発太鼓
俱樂部は
県内で知
られる和太鼓の集団。國立劇場
に出演した実力を流れ打ちなど
迫力十分に見せてくれました。

区制五十周年記念事業 金沢区吹奏楽フェスティバル

幕開けは関東学院六浦中学・高等学校吹奏楽部です。このグループは平成八年十一月の「オール金沢吹奏楽フェスティバル」の時も出演していただきましたが、その洗練された演奏と、仮装で客席を大いに楽しませてくれました。メンバーの四分の三が中学生というのはおどろきです。

第二部「アンサンブルをどうぞ」には年配者には懐かしいハーモニカバンドが登場、揃いのユニホームで平均年齢68歳の17人編成で「ラ・クンパルシータ」や「荒城の月」など馴染みの曲を演奏してくれました。



合同演练



定期総会開催

このあと金沢高等学校吹奏楽部のフルート四重奏・三重奏や、関東学院六浦中・高等学校吹奏楽部のサキソフォーン四重奏にホルン四重奏、横浜中学校高等学校吹奏楽部のトロンボーン四重奏・バリ・チューバ五重奏、木管六重奏とつづき、第二部のラストは金沢吹奏楽団の金管五重奏



おばた正雄氏・黒川澄夫氏(各市会議員から)、文化協会の益々の活躍と発展を祈る旨のご挨拶をいただきました。会長挨拶(助川副会長代行)、議長に後藤理事が選ばれ、会員総数五六名、出席、団体二八名、個人一八名、委任状出席五四名、合計二〇〇名との定数報告があり、議事になりました。

一、平成九年度事業報告
一、" 収支決算報告
一、" 会計監査報告

一、平成十年度事業計画
一、" 収支予算

以上審議をして頂き議決されまし



た。平等副会長の閉会の挨拶と理事全員の紹介があり総会は終了しました。休憩後助川副会長座長による会員懇談会が開かれました。文化協会も発足三年を経過、会員のご理解とご協力により事業を開拓し、世間からも評価を頂けるようになった。今後は更なる発展の為の運営の見直し等参考にしたいので忌憚のないご意見をお願いしたいと挨拶があり懇談に入りました。会員からは文化協会入会の手続き（申込所・用紙）がハツキリしていない・イベントが少ない（個人会員）・各団体のPRの場が欲しい・金沢区の文学と歴史愛好会では毎回六七十名の参加で盛会である等活発なご意見がありました。理事側からは更に部会活動を個人会員を含めて活発にし、（次頁へつづく）

そしてサキ
ソフオーン
五重奏とつ
づきました。
テナー・ア
ルト・バリ
トン・サック
スの演奏は
圧巻でした。

第三部の



横浜中学校高等学校吹奏楽部は、「吹奏樂フェスティバル」で感じたが、力強くキレのいい演奏、特に最後の



(3) 平成10年9月15日

し お さ い

文化協会の主張

総合文化ホールの建設を

7月18日区民のつどい 岩瀬理事発言全文

金利谷東3丁目の岩瀬と申します。文化協会に所属しております。さて、文化協会では“金沢区に文化ホールを”という合言葉で、区内でなんらかの文化活動を行っている方に文化ホールに関するアンケート調査を実施しました。その結果、特に音楽団体では、定期的に練習場所がとれず、区外の施設での練習を強いられたり、希望日が取れなかつたりという意見が目立ちました。また、演奏会・発表会の場所として、ここ金沢公会堂を利用される方が多数いらっしゃいましたが、競争率が高く一回の抽選では確保出来ず、4～5回も足を運んで会場を確保したという方が6割もおられました。この結果から、圧倒的に施設の不足ということがうかがい知れます。文化協会には書道・絵画・写真愛好の団体・個人も多数おられます、発表の機会に乏しい事、展示用スペースの確保に苦慮していると言った意見も頂戴しました。以上のような結果をふまえ、ホールやギャラリーが一体となった総合文化ホールの建設の急務を訴え続けております。

近隣の区や、横須賀市・鎌倉市では立派なホールが整備されております。また地方都市でも人口20万

人程度の都市には、700～800人収容の音楽ホール・文化会館といった施設があります。金沢区にも邦楽・洋楽問わず、地方都市に勝るとも劣らぬ数のアマチュア音楽家がいらっしゃいます。ところが金沢区には音楽専用ホールは客席数100名程度の「長浜ホール」があるのみです。

金沢区で37年活動を続けているアマチュア団体「金沢吹奏楽団」の例で、先日「湘南区民文化センターひまわりの郷」で開催した演奏会では、ホールの客席数を上回る大勢の方々に来ていただきました。ただ、非常に残念だったことは、金沢区役所はじめ多くの地元の皆様からご後援をいただいたにもかかわらず、音響効果・舞台の広さや舞台転換などの事情で、金沢区内での演奏会開催を断念せざるを得なかつたということです。

他の文化団体や活動家の方々も同じような事を思われたことがあるのではないでしょうか？

どうか金沢区の文化活動をもっと活発にするために、一刻も早く総合文化ホールの建設に着手していただきたいと存じます。（文案・長谷川理事）

- 庭の事情により群馬県に転居、退会される。文化協会のあり方検討委員会を発足させる。

4・15 10年度総会準備状況チエック・
「金沢区郷土芸能まつり」準備進捗状況報告・8月実施の「金沢区民大絵画展」の準備状況報告。

5・13 平成10年度総会終了報告・「郷土芸能まつり」当日の役割分担確認・「金沢区大絵画展」の準備進捗状況報告・金沢区文化協会の在り方検討委員会第一回報告。金沢区文化協会総会後、会員を対象とした懇談会を開催。その内容報告。

6・17 「金沢区郷土芸能まつり」実施状況報告 田野理事退会に伴い後任の総務部長に後藤政也理事就任。新理事（書道）浅沼善洲（山田靜峰氏退任）・（児童文化）氏家総子・（吟道）志村靜風・梅木笙龍（佐々木岳歳・松本鳶神氏退任）

7・22 「金沢区民大絵画展」出品申込み状況・準備状況報告、写真部門今秋行事予定説明・区民文化祭準備状況説明、後藤理事より文化協会後援申請状況報告。

理事会だより

(前頁より) 会員の懇親会等を実施、コミュニケーションを図つていきた
い旨発言がありました。会長から皆
様のご意見を参考に文化協会の一層
の発展の為ご支援を特にお願いした
い旨と、悲願の文化ホール建設につ
いて、皆さん外に向かつて発言し、
推進を図つて行きましょうと締め括
りました。

会員アラカルト

- 横浜金沢観光協会が区制50周年記念事業の一環として「第4回よこはまかなざわフォトコンテスト」が行われた。多数の応募者の中から文化協会会員中次の方が入選、4・20区役所会議室で表彰式が行われた。

皆川喜洋・長嶋武・秦鞏
岩瀬昭二・石渡信男・鈴木晃徳
加藤千之輔・西沢一比古

○合唱のひまわり会が6月16日(火)福祉施設天神寮の文化祭に参加、会場全員で童謡を合唱した。

○金沢区音楽のつどいは、11月3日(祝)みなとみらいMMホール(二、〇〇〇人収容)にて、パイプオルガンとミサ曲の演奏会を開催。入場無料。

○金沢三曲会演奏会 11月3日(祝)11時開演 於金沢公会堂 来場歓迎。

○第3回日本舞踊連盟公演 11月15日(日)正午より3時半まで。於金沢公会堂 来場歓迎。

会員プロフィール⑥

手芸サークル
清美会



清美会は金沢区にある老人利用施設晴嵐荘のO Bグループで構成したサークルのひとつで、

金沢区の文学と歴史愛好会



会の誕生は昭和54年。以来17年間に実施した例会はこの9月で185回となる。盛夏の8月だけは屋内でビデオ映写会と講演会を行うが、他はすべて屋外の歴史散策である。

例会は、毎月第四日曜日と決めている。活動地域は主として横浜市・鎌倉市・三浦半島など、寺社や遺跡をめぐり約7キロを歩く。

年一回は、歴史・文学のテーマを選んで県外へ一泊のバス旅行に出かける。といつても決して堅苦しいことはない。この日の会員は、子供に還えり顔は輝いて弾んだ歓声が終日絶えない。

会員は105名。女性75名、男性30名という女性優位の構成だ。平均年齢は50才代で、夫婦会員も10組ほどいる。毎月の例会には大体60~70名参加するが、お歳の割りには健脚の方が多い。

会の運営は、企画・ガイド役・資料作成等すべて8名の幹事の手作りで、キメ細かい下見も欠かせない。年会費は6千円。

ガイド役の解説は必ずしも名調子とは言えないが、会員のマナーのいい「聞き上手」は、当会の特質であり誇りでもある。

会長 楠山永雄
金沢区柳町31-22
電話 701-1973

現在会員数は二十名。発足以来十二年、月2回、金沢地区センターで活動しています。平均年齢は七十二歳、極力費用をかけないで長く楽しめますように、材料、道具を工夫しながら、明るくやっています。

内容は染め物（絞り染、ろうけつ染、手描き染）、押絵、組紐、3D、アクセサリー、その他小物、など、巾広く手掛けています。

指導は日本手工芸指導協会師範の

有沢清子があたり、老後の生きがい作りの余暇活動として、飽きない明るい指導により活動しています。

会員の目標は、毎年秋に開催の金

沢区民文化祭に、一年の成果を作品

展示することです。毎年、秋が近づくと文化祭を中心とするのですが、会員全員が老人にて設営などの協力が出来ないのが、悩みでございます。拙いボランティア活動ですが、どうぞ今後共、文化協会の皆様お願い申上げます。有沢清子

五七八一一〇二一

金沢区日本舞踊連盟



日本舞踊？

お金かかるんでしょ！

時代遅れじゃない？ 現代のテンポについてゆけない過去のものというイメージを持たれる方が多いのではないですか。ですが長唄・清元・常磐津・端唄・小唄も過去にはその時代の流行歌で庶民に愛され、親しまれていたものなのです。私達が忘れていた風俗・習慣が唄われていて、ひと時をほつと時代を超えた時点に身を

森下会長はじめ皆様のご支援を賜り、今年は区民文化祭に参加させていただき第三回公演を十一月十五日(日)に金沢公会堂で催させて頂く事になりました。地域の皆さんで楽しんでいただける様にと心がけております。入場無料ですのでお一人でも多くの皆様の御来場をお待ちしております。

事務局 五七八一一九二〇七

ハロー・ルーム

地域の子供達への絵本の読み聞かせを主とした「ハロー・ルーム」を始めてから二十四年が過きました。

毎週水曜日の午後を谷津坂会館（能見台西友傍）で自由に集まつて来る年齢もまちまち

の二十人程の子供やそのお母さん達に、その日の顔ぶれにより紙芝居・絵本の読み聞かせ、お話・パネル・シアター・折り紙、遊び（七夕・Xマスも）、貝合せ等をしています。二十四年前に比べ今、子供達のおかれて居る状況は随分変わりました。何時も時間に追われますます心のゆとりを無くしていく子供達にとって「ハロー・ルーム」はほんの僅かでも子供達の心がホット憩える場で在りたいと思っています。子供が幼児期からの時代時代を急ぐ事無くたっぷりと過ぎて行けたらその心もたっぷりと育つていけるのにと思いつつ私の年中無休の楽しいボランティアはまだ当分続きそうです。新設の児童文化部として同じ思いの方々と共に今を生きる子供達に何が出来るかを考えみたいと思っています。（氏家総子）



編集委員

岩瀬昭二・森川淳子・佐野史瑞子
吉澤政晴・後藤政也

編

集

後

記

文化協会設立以来お力添えいただいた田野諒氏が退会されましたので、新しく編集委員に後藤政也氏を迎えることの多彩な経歴に期待します。

会員の皆様からの情報をお待ちしてい